



イルカ通信

隔月1回発行
バックナンバーは無料でダウンロードできます
(下記参照)

2007年12月1日 No. 021

小笠原ホエールウォッチング協会 (OWA)



小笠原で暮らすイルカたち



「ザックの子供」

イルカ通信18号でご紹介した、ミナミハンドウイルカのザック(個体識別番号#9)の子供は順調にスクスクと育っています。

今年6月に満1才を迎えたこの子イルカは、その後も7月、8月、10月、11月と父島列島の周辺海域で確認されています。まだ、お母さんイルカのザックとほとんど離れることなく、ぴったりと寄り添って泳いでいます。体に目立った傷などもないことから単体では個体識別しづらいたのですが、ザック(各ヒレに欠損多数:写真上)と一緒にいることからすぐにわかります。ドルフィンスイムをしていると近くやってくることもありますが、無理に追いかけて回さず、優しく見守ってあげましょう。



「イルカとイカ」

ドルフィンスイムをしていると、時々イルカが何かを吐き出すことがあります。拾ってみると写真のようなものが含まれています。これはイカの腕部(いわゆる足)や軟甲、くちばしです。時には魚の骨などが出てくることもあります。カワハギの仲間をくわえていたり、トビウオを追いかけている姿を目撃されたりもしていますが、実は、小笠原のミナミハンドウイルカが何を・どこで・どれだけ食べているのかは、まだよくわかっていないのです。消化が進んだ吐き戻しから元のイカの種を当てるのは容易ではありませんが、くちばし(写真右の黒いもの)はイカの種ごとに特徴があるので、それを手がかりにすることができます。少しずつですが、イルカたちの食べ物についての調査が進められています。



イルカのこともっと知りたい! その2



尾びれにくっついてるコシな〜に?

イルカを観察していると、尾びれや背びれにくっつけているこの生き物をよく見かけます。

これな〜んだ?

Q・①フジツボの仲間 ②皮膚がはがれている ③魚



A・①フジツボの仲間

これはエボシフジツボといいます。尾びれなどに寄生して海中の微生物を食べています。イルカにとっては何もいいことなし。



小笠原ホエールウォッチング協会
〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町

URL <http://www.ogasawara.or.jp/owa>
Tel 04998-2-3215 e-mail owa@n6.dion.ne.jp

